

## (4) 自学自習の記入の必要がある科目：本科学修及び専攻科の講義演習（授業内容部分に罫線あり 16 週分）

科目名	機械工学演習Ⅱ	英語科目名	Exercise of Mechanical Engineering II
開講年度・学期	平成22年度・前期	対象学科・専攻・学年	機械工学科5年
授業形態	演習	必修 or 選択	選択
単位数	1単位	単位種類	学修単位（30+15）h
担当教員	川村壮司	居室（もしくは所属）	機械工学科棟2階
電話	0285-20-2201	E-mail	t-kawamura@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 静力学の基礎が理解できていること。 2. 引張り圧縮の問題が解けること。 3. 応力、ひずみおよびフックの法則が使用できること。 4. せん断とねじりの計算ができること。 5. はりの曲げ問題が解けること。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～5：試験での関連問題について60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
2回の試験（各90分）の相加平均と授業毎のレポートおよび小テストで評価する。 試験は、ポケコンのみ持ち込み可。なお、参考書、コピー、携帯電話、ノート、メモ等の持ち込みは不可。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. 静力学についての問題	材料力学の復習をしておく		1
2. 応力、ひずみ、フックの法則についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1
3. 応力、ひずみ、フックの法則についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1
4. 引張り圧縮についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1
5. 引張り圧縮についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1
6. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1
7. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1
8. せん断とねじり	レポートによる問題を解いてくる		1
9. せん断とねじり	レポートによる問題を解いてくる		1
10. はりの曲げ	レポートによる問題を解いてくる		1
11. はりの曲げ	レポートによる問題を解いてくる		1
12. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1
13. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1
14. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1
15. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1
	自学自習時間合計		15
キーワード	静力学, 応力, ひずみ		
教科書	指定しない		
参考書	前年度までの材料力学で使用したもの		
小山高専の教育方針①～⑥との対応 ④ ⑤ 技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A-1) (B-1)			
JABEE 基準1の(1)との関係	(d-1), d(2-a)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	材料力学		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
シラバス作成年月日	平成22年2月24日		